

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	鋼構造次世代設計規準検討小委員会	主査名：山田 哲 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：五十田博 (主査名：五十嵐規矩夫)
設置期間	2020 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>大地震に対する倒壊防止から機能維持へといった建築構造への社会の要求の変化や、計算機の普及・進歩といった技術の進歩を踏まえ、現行の鋼構造の設計における問題点を洗い出すとともに、具体的解決策を検討し、新しい設計規準(案)の提案を行う。</p> <p>初年度：現在の設計規準における問題点を抽出し、今後の技術の進歩・社会の要求の変化・国際化に対応できる設計規準について議論を進める。 2年度：大会において PD を開催し広く意見を求めるとともに、前年度に引き続き現在の設計規準における問題点の抽出に取り組み、今後の技術の進歩・社会の要求の変化・国際化に対応できる設計規準について議論を進める。新しい体系を検討し、骨格の原案の作成に着手する。 3年度：新しい設計規準の大枠について、原案の策定に取り組む。 4年度：新しい設計規準の大枠について、策定した原案を取りまとめる。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：山田 哲(東京大学) 幹事：浅田勇人(芝浦工業大学) 委員：井戸田秀樹(名古屋工業大学)，宇佐美徹(竹中工務店)，岡崎太一郎(北海道大学)，吉敷祥一(東京工業大学)，倉田真宏(京都大学)，髙橋裕治(京都大学)，小山 毅(東京大学)，佐藤義也(日本設計)，竹内 徹(東京工業大学)，田中 剛(神戸大学)，向出静司(大阪工業大学)，石原 直(東京工業大学)，脇田直弥(日鉄エンジニアリング)	
設置 WG (WG 名：目的)	時刻歴耐震設計検討WG 本 WG では、時刻歴応答解析による耐震設計法に対応した、新しい規準・指針の可能性を検討する。	
2023 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—

<p style="text-align: center;">目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鋼構造におけるこれからの設計規準として、時刻歴応答解析による設計法を軸に据えて検討を進めるという方針をたて、専門的に検討を進める WG において検討を進めた。新しい設計規準の大枠についての検討や、規準の策定に必要な課題の抽出などは進められているが、規準の原案策定については、時刻歴応答解析による設計規準の策定に取り組む小委員会を立ち上げ、引き継ぐこととなった。 2. 当初の計画では規準の原案まで検討するという大きな計画を立てたが、具体的な規準の策定までには至らなかったが、道筋を付けるということはできたので、最低限の目標は達成できたと考える。
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 残念ながら、産学ともに学会活動に割ける時間が年々厳しくなっていると思われる。